



中期経営方針

【2024/4 ~ 2029/3】



公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団

中期経営方針の策定にあたって

『地域にとって、なくてはならない存在でありたい！』

『事業団があるから、みんながスポーツを楽しみ、地域が活気づく』

これが尼崎市スポーツ振興事業団の目指すべき不変の理念と将来像であり、これらを合言葉に、私たちは設立以来40年にわたり、尼崎市の外郭団体として行政運営を補完する役割を果たすべく、良質なサービス提供と適正な管理施設の運営、住民や関係団体との信頼構築に努めてきました。

しかしながら、この間、民間競合施設との経営競争の激化はもとより、少子高齢化の急速な進展、指定管理者制度の導入や公益法人制度改革に伴う公益財団法人への移行、コロナ禍を契機としたライフスタイルや価値観の更なる多様化、唯一の所有施設であったWOODY事業の廃止など、事業団を取り巻く状況や経営環境は大きく変化し厳しさを増しています。

とりわけ行政における指定管理者選定に係る公募化の見直し動向は、自己の拠点施設を持たない事業団にとっては、組織運営のみならず人材の活用と育成の拠点を喪失し、団体の存続にも直結する重大かつ深刻な懸案事項です。

不安感や危機感が先行する状況だからこそ、職員には、改めて組織の位置づけや課題、目指すべき目標や将来像等の共有化が必要であり、また、行政に対しては、事業団が果たしてきた役割や成果を正しく周知し適正な評価と理解を得る材料にするため、今後の方向性を示す中期経営方針の策定を目指すこととしました。

なお、策定の過程において、指定管理者公募化の動向には一定の整理がなされ、当面は現状維持される状況になったものの、新たに中学校部活動の地域連携への着実な移行など、事業団には、行政のパートナーとしてより難易度の高い役割が求められており、職員一同より強い使命感と責任感で取り組む決意でいます。

今回、この中期経営方針は事業団職員のみで策定したため、独自に取組目標等を設定することは困難でありましたが、今一度原点に立ち戻り教育行政を補完していくために必要な今後の方向性を決めました。

ただし、その実施と運用にあたっては、関係行政とのより緊密な連携のもと、具体的な数値目標の設定等を検討するとともに、必要な見直しについては、各年度の事業計画や予算において適宜反映してまいりますので、関係各位には、引き続き、格別のご支援とご協力をお願いいたします。

令和6年11月

公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団
理事長 福 井 進

もくじ

はじめに	・・・	1
方針の位置づけ及び取組期間	・・・	2
現状及び基本的な課題認識	・・・	2
事業団の基本理念と基本戦略等	・・・	3
これまでの取組と主な課題		
子どもの体力強化と中・高齢者の健康づくりの推進	・・・	6
競技スポーツの振興	・・・	18
施設整備の強化	・・・	19
PRの強化	・・・	21
指定管理者制度	・・・	22
その他	・・・	23
令和6年度以降の主要取組項目		
子どもの体力・運動能力の向上、世代を問わないスポーツ活動・健康づくりの推進	・・・	26
競技スポーツの振興	・・・	29
施設整備の強化	・・・	29
PRの強化	・・・	30
指定管理者制度	・・・	31
その他	・・・	32
おわりに	・・・	34
※ 尼崎市スポーツ推進計画（参考）	・・・	35
※ 中期経営方針検討委員会	・・・	36

はじめに

- ▶公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団は、令和5年1月に創立40周年を迎えました。
- ▶設立以来、尼崎市の外郭団体として、尼崎市、尼崎市教育委員会、尼崎市体育協会等と連携しながら、市民の体育・スポーツの振興を図る中心的な団体としての役割を担うとともに、現在では猪名川町においても、スポーツ施設の指定管理者として行政運営に参画しています。
- ▶一方で、独自施設として運営してきた会員制スポーツクラブ『シティスポーツクラブ尼崎WOODY』については、赤字経営が常態化する中で、予期せぬコロナ禍により多くの退会者が発生し閉館せざるを得ない状況に追い込まれました。また、コロナによる様々な事業活動の抑制と減収に加え、人件費や光熱水費の高騰などにより、事業団全体の収支状況は3年連続で赤字決算を余儀なくされる厳しい状況が続いています。
- ▶引き続き、尼崎市及び猪名川町のパートナーとして、各施設の指定管理者としての役割を果たしつつ、住民のスポーツ振興と健康増進に向けた各種教室等の実施、地域へのスポーツ指導員の派遣やフレイル予防の促進のほか、小学生の体力向上や中学校部活動への指導助言に積極的に取り組むとともに、国が推進する中学校部活動の地域連携等の新たな課題にも地元行政とともに取り組み始めているところです。
- ▶我々の持つ財産と強みは、スポーツを通じた身近で地域に根差した公益活動であり、それを支える多様な経験とノウハウを持つ有能な人材であると考えています。
- ▶そして、これからも尼崎市や猪名川町が抱える新たな行政課題に共に手を携え取り組むことが、我々事業団に課せられた使命であり、責任でもあると強く認識しているところです。
- ▶コロナ禍を契機にライフスタイルがより多様化した今、これまでの取組を再確認し、時代の変化に対応しつつ新たな成果を上げていくため、中・長期的な視野のもとで、今後の取り組むべき主要取組項目及び課題等を明らかにするとともに、事業運営の基本的な方針（あるべき姿）を定めます。

方針の位置づけ及び取組期間

- ▶本方針は、尼崎市及び猪名川町が策定する各種行政計画等との連動を図りながら、今後の指定管理者業務の受託状況等も踏まえつつ、地元行政とも協議の上で必要な見直し等を行うとともに、今後の具体的な事業運営や事業の実施内容等については、各年度の事業計画において整理を行う。
- ▶本方針の取組期間は、令和6（2024）年度から令和10（2028）年度までの5年間とします。

現状及び基本的な課題認識

- ▶事業団は、公益財団法人として利益を目的とせず、行政運営の効果・効率的な代行や補完的役割を果たすとともに、経営努力により生じた余剰金や事業運営利益については、施設・設備の維持改修や地元行政の施策に沿った事業展開など、施設利用者等へのサービスの充実及び還元を中心にを行い、行政負担の軽減にも寄与しています。
- ▶また、スポーツ振興基金の運用収益を活用し、高齢者や障がい者に対する施設使用料助成による社会参加の促進をはじめ、体育・スポーツ団体に対する活動助成や顕彰のほか、行政等が実施する各種イベント事業に対する支援にも鋭意取り組んでいるところです。
- ▶しかしながら、事業活動に対する法的制約に加えて、市の財政状況や行財政運営に大きく影響を受けることが大きな経営上の課題になっています。
- ▶特に、市と一体となって施策を推進する立場である外郭団体が非公募で指定管理者となっている施設については、その管理運営と団体そのものの運営が直結しているという認識と、事業団の役割やこれまでの活動状況、社会的貢献度等に対する適正な評価のもと、昨今の光熱水費等の急激な物価高騰や大規模改修に伴う休館等を踏まえた市の対応が十分になされる必要があると考えています。

参考：指定管理料の推移

H31.10消費税率引き上げ

R4指定管理更新

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
社会体育施設	255,817	258,284	261,185	261,493	216,912	250,634
記念公園施設	231,963	233,558	235,720	236,910	229,342	229,342
消費者物価指数	99.6	100.1	99.9	100.0	103.2	106.3

※人件費を含み物価上昇分は反映されていない。

*サンビック尼崎長寿命化工事

- ▶事業団は、設立の経緯から、自己所有の拠点施設を持たず、各指定管理施設を拠点として、住民に対するスポーツの指導、啓発や健康づくり事業等を提供し実践するとともに、必要な人材育成等を図っており、市のスポーツ施策を安定的かつ継続的に推進する上で、今後とも指定管理者として事業団が果たす役割は重要であると認識しています。
- ▶そのためにも、地元行政とのパートナーシップをより強固なものとしながら、これまで40年間に積み上げ発展させてきた事業ノウハウや人材等をより効果的に活用できる事業運営に取り組み、「地域になくってはならない存在」として広く認知されるように取り組んでいきます。

事業団の基本理念と基本戦略等

- ▶事業団では、全職員が思いを一つに尼崎市の体育・スポーツの振興にさらに情熱と信念を持って取り組んでいくため、平成19年度に実施した中期ビジョン検討委員会の取組の中で、今後の事業団の果たすべき役割や目指すべき目標等を定めた基本理念及び基本戦略を策定し、公表しています。
- ▶住民のニーズや生活スタイルなど、取り巻く環境は常に変化し続けますが、体育・スポーツの持つ役割や重要性をはじめ、我々が目指すべき団体運営の理想や目標等については不変であり、今後においても基本理念及び基本戦略を基軸に、尼崎市の外郭団体として求められる役割と責任、パートナーとしての果たすべき使命感をこれまで以上に全職員が共有する中で、「地域住民の笑顔と健康」を第一の主眼に、事業団の存在意義や価値をより高める事業運営と安定した運営基盤の確立にさらに積極的かつ果敢に挑戦していきます。

基本理念

『体育・スポーツを通じて明るく豊かな地域社会を創ります。』

将来を担っていく世代の体力づくりをはじめ、健康な成人と元気な高齢者の拡大を目指し、体力、スポーツの重要性を更に推し進めることにより、明るく活気あふれるまちづくりを目指します。

ビジョン

『地域にとって、なくてはならない存在でありたい。』

まちのあちこちで、子どもから高齢者までが集い、みんなが笑顔でスポーツを楽しんでいる。その中心には、いつも私たち（事業団）がいる...事業団があるから、まちが活気づくと言われるような、そんな存在を目指します。



基本戦略

○子どもの体力・運動能力の向上、世代や性別を問わないスポーツ活動・健康づくりの推進

スポーツに親しむ機会の充実や学校体育・運動部活動及び部活動地域移行への協力・連携による子どもの体力・運動能力の向上と老若男女を問わず、ライフステージや体力等に応じたスポーツ活動、健康づくりの推進に取り組みます。

○競技スポーツの振興

スポーツに関心のない市民も引き込み、全市挙げて応援できるような競技スポーツを尼崎市に浸透させます。

○施設整備の強化

心身ともにリフレッシュでき、誰もが安心して集い楽しめるような、安全・快適な施設づくりを目指します。

○PRの強化

事業団を知ることで、何らかの形でスポーツと触れ合う・・・そんな地域住民を1人でも多く増やします。また、地域住民や尼崎市・猪名川町から信頼と評価を得るため、SNS等を積極的に活用し、PRに力を注ぎます。



これまでの取組と主な課題

今後の事業団のあるべき姿やビジョンなどを再認識し、改めて職員が一丸となって課題解決に取り組んでいくため、各所属におけるこれまでの取組状況とそのなかでの課題を認識するべく、従前の基本戦略4項目①「子供の体力強化と中・高齢者の健康づくりの推進」、②「競技スポーツの振興」、③「施設整備の強化」、④「PRの強化」に、⑤「指定管理者制度」及び⑥「その他」を加えた6項目に焦点を絞り、それぞれの洗い出しを行った。

子どもの体力強化と中・高齢者の健康づくりの推進

◇スポーツ教室の開催等

サルススイミングスクール（屋内プール）

・ベビークラスから成人クラスまで泳法指導や水中運動の効果的なプログラムを通じて、住民へ水に親しむ機会を提供し、水泳を普及させるとともに、泳力の向上及び健康・体力の保持増進を図っている。

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
受講生数	16,606	15,429	12,781	15,469	8,917	15,064

(コロナによる影響)

(大規模改修による休講)

(延べ人数)



これまでの取組と主な課題

子どもの体力強化と中・高齢者の健康づくりの推進

サルススポーツ教室（地区体育館）・レインボースポーツスクール（総合体育館）

・バドミントン、バスケットボール、トランポリン、ピラティスなど競技性・専門性の高い各種スポーツ教室を開催することで、住民の健康づくり・体力づくりをベースとしたスポーツの振興と競技レベルの向上を図っている。

(延べ人数)

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
S受講生数	30,445	30,216	19,464	28,837	30,553	31,048
R受講生数	7,660	7,902	5,568	6,890	7,159	7,387



健康づくり教室（地区体育館）

・親子や幼児向けの「親子の体育あそび」や「幼児のチャレンジスポーツ」、基本的な技術を習得できる球技系の「さわやか卓球」、「中高年向けのさわやか健康体操」などの教室を開催し、幼児から高齢者まで幅広い世代が気軽に運動を楽しむとともに、運動を始めるきっかけとなる機会を提供している。

・新規受講生が入講しやすくするため、1期17回の2期制から1期12回の3期制に変更を行ったが、継続者にとっては、申込手続きの回数が増えたことで、利便性が低下したとの意見も出されている。

(延べ人数)

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
受講生数	7,196	9,796	8,015	9,003	9,026	8,951



これまでの取組と主な課題

子どもの体力強化と中・高齢者の健康づくりの推進

イナボースポーツスクール（猪名川町スポーツセンター）

・硬式テニス、キッズダンスや健康太極拳など、各世代のニーズや利用目的にマッチした多様なスポーツ教室を開催することにより、地域に根ざした生涯スポーツの推進を図っている。

(延べ人数)

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
受講生数	1,254	3,741	2,395	2,580	3,236	2,887



リフレッシュプログラム（猪名川町スポーツセンター）

・トレーニングルーム利用者を対象に「いきいき元気体操」、「わくわくエアロ」や「たのしくダンス」など様々なプログラムを提供し、トレーニングルームの利用促進を図るとともに、地域住民が気軽に参加できる健康づくりの場を提供している。

(延べ人数)

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
受講生数	16,872	17,624	12,511	15,099	18,775	20,094



これまでの取組と主な課題

子どもの体力強化と中・高齢者の健康づくりの推進

スイミングスクール（猪名川町B & G海洋センター）

- ・親子クラスから成人クラスまでを対象に、泳法指導や水中運動の効果的なプログラム提案を通じて、住民へ水に親しむ機会を提供し、水泳を普及させるとともに、泳力の向上及び健康・体力の保持増進を図っている。

(延べ人数)

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
受講生数	12,749	12,359	10,632	12,606	12,536	12,363



スポーツ教室（猪名川町B & G海洋センター）

- ・多目的室を有効活用するべく、「おはようストレッチ」、「機能改善ヨガ」や「コアトレーニング」などの多様なスポーツ教室を開催し、受講生の健康・体力づくりを促進している。

(延べ人数)

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
受講生数	1,013	1,223	1,196	1,157	1,249	1,225



これまでの取組と主な課題

子どもの体力強化と中・高齢者の健康づくりの推進

トレーニング指導事業（総合体育館）

・総合体育館のトレーニング室は、ウエイトリフティングやボディビル等の練習にも取り組みやすい各種マシンや指導環境が備わっているため、専門トレーナーが適宜、適切にトレーニング方法や留意事項等を伝えるなど、利用者に応じた効率的かつ効果的なトレーニングメニューを提供している。

(延べ人数)

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
受講生数	90,607	83,260	52,067	59,196	66,278	71,717



【課題】

・各施設の特性や地域ごとの住民ニーズに違いがあるものの、全般的に利用者が減少傾向にある子どもクラスの対応をはじめ、幅広い年齢層のスポーツ活動の充実を図るため、土・日曜日や学校の長期休業期間中の中学生や親子が参加しやすいプログラムを検討するとともに、新規利用者獲得のためのPR活動の強化とあわせて、曜日、時間によっては、定員に達しているクラスもあることから、キャンペーンの実施方法等の見直し・工夫を行う必要がある。

・また、トランポリン教室などの怪我のリスクが大きい特殊な競技については、安全の確保に必要な研修を定期的実施するなど、指導員の指導レベルの維持・向上を行っていく必要がある。

これまでの取組と主な課題

子どもの体力強化と中・高齢者の健康づくりの推進

- なお、水泳指導員の確保が厳しい状況であり、スイミングスクールの選手クラスのあり方などの運営方法についても検討が必要な状況となっている。
- 申込みについては、窓口での紙ベースでの入講申込みからWEB申込み等への申込方法の見直しを検討する必要がある。
- 会員管理システム（様々なサービスや振替管理）が複雑であるため、管理しやすい仕組みや利用しやすい環境の整備が必要である。
- トレーニング室利用者の女性の割合は、約12%と低調であるため、女性も利用しやすい環境づくりを整えていく必要がある。
- また、小学生5年生から利用可能ではあるが、成長過程にあることなどを考慮する中で、トレーニング器具はほとんど使用せず、自体重によるトレーニングが中心となるため、継続利用の向上に向けた取組の検討が必要である。
- また、トレーニング室の運営に関しては、民間の24時間フィットネスクラブ等との更なる差別化を図るため、従事する職員の知識とスキルの向上を図り、利用者個々の様々なニーズに対応した指導や提案内容の充実を図る必要がある。

これまでの取組と主な課題

子どもの体力強化と中・高齢者の健康づくりの推進

◇指導者派遣事業

・地域住民の様々な健康・スポーツ活動を支援するために、事業を通じて地域住民・各種団体（保育園、幼稚園、学校、老人センター、子育てサークル等）及び企業におけるスポーツの振興、健康の保持増進に貢献することを目的に、各々の要請に応じて、経験豊富な指導員が現地に出向き、丁寧かつ安全で利用者のニーズに即したスポーツ・健康づくりの指導を低廉な価格で行っている。

・国民健康保険運動指導業務（健康支援推進担当）、いきいき百歳体操支援事業（包括支援担当）、(社福)尼崎市社会福祉協議会と連携した各施設でのエクササイズ指導や地域課との共催による各地区の生涯学習プラザにおける40歳以上を対象としたフレイル予防体操など、高齢者の健康に対する市の施策に対応した各種事業を展開している。



これまでの取組と主な課題

子どもの体力強化と中・高齢者の健康づくりの推進

指導者派遣事業の変遷

昭和62年度から出張指導業務をスタート

主に尼崎市からの運動指導員の派遣依頼等がメイン、その後、看護専門学校などの野外活動（キャンプ実習）などの授業や保健体育授業、保健所などでの運動指導を行う。

平成17年5月から私立幼稚園からの依頼によりプール指導業務を受託

以後、私立幼稚園・保育園などの「運動遊び」「器械体操」等の通年派遣事業が増加する。

平成19年度から地区体育館の人員体制を強化

より地域に密着したサービスを提供するため、地区体育館の職員配置を職員4人に加え、常勤アルバイト職員1人を増員し、派遣体制を強化する。

平成28年度から事業2課指導者派遣担当を設置

指導者派遣事業のニーズ拡大に対応するべく、効率的かつ安定的な運営及び将来の事業発展を視野に入れ、組織体制を整備し、事業拡大に向けた取組を行う。

兵庫県施策である各地域のスポーツクラブ21への指導員の派遣や企業の健康経営推進への協力、その他地域行事への積極的参加、老人センターや地域の会館における健康体操指導、コロナ禍での地域課等と共催して実施したフレイル予防体操など、地域、学校、関係機関などからの様々な要請に基づき、管理施設を拠点に事業団職員を派遣し、市民の健康促進に寄与している。

さらには、当該派遣事業を通じて、令和5年度から中学校地域クラブ活動推進事業の取組にも参画している。

これまでの取組と主な課題

子どもの体力強化と中・高齢者の健康づくりの推進

指導者派遣先一覧

団体名等	内容	年間本数	参加人数
市立保育所（5保育所）	職員研修	5	16,796
私立保育園（うるま、浜つばめ、南清水 他6保育園）	運動遊び、水慣れチャレンジ、器械体操、幼児体操、運動会補助	347	
市立幼稚園（5幼稚園）	園児・未就園児の親子体操	9	
私立幼稚園（からたち、みとも 他3幼稚園）	幼児体操、運動会補助、水中遊び&泳法指導	345	
小学校（PTA）	走り方教室／フラッグフット	2	5,748
尼崎市子育てサークル実行委員会	親子の体育あそび	1	
スポーツクラブ21等（4団体）	ミニバスケットボール指導、交流試合、体成分測定	146	2,564
私立小学校（百合学院）	バドミントン、器械体操	58	
専門学校（尼崎健康医療財団看護、関西労災看護）	体育授業、運動会企画運営	29	
私立大学（園田学園女子）	水中運動・アクアビクスの授業	3	31,904
尼崎市（保健体育課 他16課）	教員職員研修、フレイル予防体操講座、障がい者スポーツ、健康体操	78	
いきいき百歳体操上坂部集会所 他10施設	フレイル予防体操	32	
尼崎市老人クラブ連合会（他36団体）	健康体操、認知症予防体操、フレイル予防体操、ニュースポーツ体験	487	
社会福祉協議会（総合老人福祉センター等）	チューブトレーニング、健康体操他	912	1,349
尼崎ろうあ協会	トリコロキューブ	1	
公益財団法人尼崎緑化公園協会	ウォーキング講座、腰痛予防	1	7,062
公益財団法人尼崎市シルバー人材センター	健康体操	4	
一般企業等（尼崎あきんど倶楽部 他7企業）	体力測定、体成分測定、健康セミナー、健康体操、フレイル予防体操	217	65,423
猪名川町、社会福祉協議会（他3団体）	体力測定、トレーニング法、水泳指導、健康体操	136	
その他（5団体）	フレイル予防、職員研修（相撲）、運動遊び、運動会	510	
		3,323	

これまでの取組と主な課題

子どもの体力強化と中・高齢者の健康づくりの推進

指導者派遣件数及び回数

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
件数	768	811	423	492	689	754
回数	-	2,279	1,653	1,865	3,964	3,309

(地域課との共催のフレイル予防教室)

(延べ人数)

	H31/R1	R2	R3	R4	R5
実施回数	16	123	253	367	372
参加者数	112	2,083	7,215	12,515	15,496

令和2年2月：立花北、園田東生涯学習プラザの2か所からスタート

令和2年度：新型コロナウイルス感染症が拡大するものの、9月から中央北、立花南、武庫西、小田南生涯学習プラザで順次開催、大庄北は夏季の1か月のみの開催（計6か所）

令和3年度：園田東会館で試行的に開催、水堂会館で自主グループ活動として開催

令和4年度：立花南、武庫西生涯学習プラザは2クラスに増設、立花北生涯学習プラザは自主事業事業として開催、園田東会館は自主グループ活動として開催

令和5年度：中央北、小田南、大庄北、大庄南、立花北、立花南、武庫西、園田東、園田東会館、水堂会館の計10会場で開催（立花北、園田東会館、水堂会館は自主グループ）

【課題】

・尼崎市の施策推進に重点を置く中で各種事業を展開しているところであり、今後も広く、一般の団体や企業等への指導者派遣事業の拡充を図っていきたいところではあるが、人材育成と人員体制の確保が困難なことから慎重にならざるを得ない状況となっている。

・多岐にわたる事業を円滑かつ着実に実施していくためには、職員の配置拠点の拡大、組織体制の強化及び人材の確保が不可欠であるとともに、社会的課題への対応や事業団の強みが発揮できる事業に、より重点化していく必要がある。



これまでの取組と主な課題

子どもの体力強化と中・高齢者の健康づくりの推進

◇スポーツ振興基金事業

・基金の運用利息を財源に、「尼崎わんぱく相撲大会」やスポーツの日における「スポーツのまち尼崎フェスティバル」などスポーツイベントの開催、高齢者や障がい者に対する施設使用料の一部助成、スポーツ・健康情報マガジン「スマイルBOX」の発行による健康・スポーツ情報の提供、無料で遊べるキッズひろばや、かけっこ・なわとび・さかあがり教室などの子育て支援、障がい者スポーツ大会への大会運営補助や施設使用料の助成などを行っている。

スポーツのまち尼崎フェスティバルの開催

・尼崎市及び尼崎市教育委員会と共催して、スポーツ基本法に定められている「スポーツの日」に子どもから高齢者までの住民が幅広く参加できる生涯スポーツの振興事業として、尼崎市記念公園施設及び尼崎市立屋内プール・地区体育館を活用し、更なるスポーツの振興と普及を図るため、「スポーツのまち尼崎フェスティバル」を開催している。

(延べ人数)

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
参加者数	13,257	20,416	中止	中止	15,096	20,205



これまでの取組と主な課題

子どもの体力強化と中・高齢者の健康づくりの推進

高齢者・障がい者に対する施設使用料の一部補助

・高齢者や障がい者に対して、スポーツに親しむ機会の拡充を図るとともに、施設の利用を促進するため、施設使用料の一部補助（年間約100万円）を行っている。

（延べ人数）

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
屋内プール	1,308	1,263	1,436	1,530	1,011	1,548
トレーニング室	1,500	1,465	1,229	1,349	1,444	1,520
スポーツセンター	1,076	2,280	1,535	1,856	2,204	2,446

子ども子育て支援事業

・就学前の子どもたちが身体を動かす楽しさを体感できるよう、地区体育館第2フロアに無料で利用できる「キッズひろば」を設置し、また、幼児と小学生を対象に「かけっこ」、「なわとび」、「さかあがり」教室を無料開催している。

【課題と対応】

・各種支援事業については、スポーツ振興基金の運用利息を活用し、実施するものであり、低金利下においては、資金運用のあり方と財源の確保のバランスをとることが厳しい状況になっていることから、安全性の高い国債や政府保証債に限定した運用から一部を優良企業社債を含めた運用の拡大に取り組んでいる。

これまでの取組と主な課題

競技スポーツの振興

◇尼崎市体育協会加盟種目以外の競技種目の普及、振興

・事業団設立20周年を契機に、新たな競技スポーツ種目の普及、振興を図ることを目的に、事業団職員によるトップレベルのチームを目指した綱引きクラブを設立するとともに、事業団主催によるASPFスマイルカップ綱引選手権大会を年1回開催し、競技綱引きの普及・振興を図った。

【課題】

・競技綱引きは、運動会や体育の授業などで行う一般的な綱引き競技とは異なり、かなり専門的な競技であり、本格的に取り組むには、「練習環境が整わない」、「チームのメンバーが揃わない」などの理由により、どうしても参加者が集まらないことから、継続した取組として実施することはもとより、事業として定着させることができず、現在は、休止状態となっている。



これまでの取組と主な課題

施設整備の強化

◇施設、設備の修繕工事の対応

- ・利用者満足度調査等により利用者の要望にも耳を傾け、より良い施設環境を提供し、利用者が安全・安心・快適にスポーツを楽しめるよう施設運営・保全に努めつつ、他の経費を抑制するなど創意工夫を行い自主財源を確保する中で、協定書に定める上限額を超える修繕についても、利用者の利便性・必要性を考慮し、積極的に対応している。
- ・また、各年度の指定管理料等に余剰金が生じた場合においても公益法人制度における収支相償により施設や設備等の修繕・更新に充当し、施設利用者に還元している。

過去5年間の主な実績

施設	内容	金額 (円)
記念公園	冷却塔設備工事	3,384,000
	空調用補給水加圧給水ポンプ入替	1,512,000
	クーリングタワー漏水及び補強工事	1,292,317
	トレ室前男女更衣室 空調入替	1,186,920
	インターロッキング張替工事	1,371,600
	駐車場舗装修繕工事	1,383,372
	P B X 更新工事	1,532,520
	弓道場壁修繕工事	1,215,038
	陸上競技場高圧真空遮断器修理	1,320,000
	R G B フィニッシュレコーダー	7,865,000
	ガス遮断弁取替修理	1,001,000
	クラブハウス内外装改修工事	6,130,000
	屋外便所扉取替工事	1,281,500
	高圧真空遮断器修理	3,135,000
	床タイル補修工事	1,100,000
	テニスコート照明 L E D 化	1,320,000
	電気室空調機更新工事	3,674,000
	研修室 格技室 放送設備改修	1,764,800
	空調設備機器修理作業	3,080,000
	レストラン改修工事	2,541,000
	ガス吸収冷暖房機冷媒ポンプ e t c	2,442,000

施設	内容	金額 (円)
屋内プール	プール槽補修工事	1,188,000
	残留塩素測定器取替工事	1,197,720
	シャワー室改修工事	2,895,750
	男女更衣室扉改修工事 e t c	1,073,600
地区体育館	会議室系統空調修繕工事 (小田)	1,980,000
	第1フロアカーテン修繕 (大庄)	2,050,000
	第1・2フロア L E D 照明改修 (リース) (小田)	4,860,000
生涯学習 プラザ	格技室床張り替え工事 e t c (大庄)	2,879,800
	各室鍵修繕	660,000

これまでの取組と主な課題

施設整備の強化

【課題】

- 尼崎市において、長寿命化改修工事が予定されているものの、すべての設備、備品が改修の対象となっていないため、今後においても、老朽化による不具合・故障等が断続的に発生し、相当額の修繕費が必要になってくることが予想される。
- 事業団と市所管課で、各施設における状況の把握・確認など、連携を密にとりながら情報共有を行っているが、人事異動による担当者の変更があった場合にも、これまでの情報がしっかりと引き継がれていくようにしなければならない
- これまでは、定期的な契約内容の見直し等による光熱水費等の経費削減に取り組み、その余剰金を修繕等に充当することができた。しかしながら、世界的な社会情勢の悪化を背景にした急激な光熱水費や物価の高騰をはじめ、国のデフレ脱却に向けた最低賃金の上昇や定期昇給等による人件費の負担増などに対応した指定管理料の適正な見直しなどが期待できない状況であり、引き続き施設の維持管理は、非常に厳しい環境下になることが予測される。

これまでの取組と主な課題

PRの強化

◇多様なツールを活用した情報発信

・事業団ホームページの定期的な更新やLINE、InstagramなどのSNSを活用した情報の発信に加え、市報や新聞折込、近隣公共施設、学校へのチラシ配布により、広く情報提供と受講生の募集を図っている。

【課題】

- ・ホームページお知らせ欄、公式LINE、ブログ等について、各現場での更新の頻度等に差異があるため、最新情報を提供できていないときがある。
- ・また、現行ホームページは相当年数経過しており、情報量に乏しい・閲覧しにくいなどの意見も出ており、ホームページの更新をはじめ、SNSの活用や情報提供については、適宜・適切に対応するなど、広報の内容の強化と早期発信に取り組む必要がある。



これまでの取組と主な課題

指定管理者制度

◇尼崎市内及び他都市のスポーツ関連施設への応募

・平成16年7月から指定管理受託を開始した青少年いこいの家を皮切りに、尼崎市のスポーツ施設や野外活動施設を管理運営してきたほか、公益財団法人への移行後は、兵庫県内のスポーツ関連施設の指定管理業務の応募にも積極的に取り組んでいる。

【課題】

・指定管理者制度については、これまで、複数施設の指定管理者の公募にチャレンジしてきたが、猪名川町施設及び青少年いこいの家のみが選定されている状況であり、特に大型施設は、ネームバリューのある大手企業など競合他社が多く参入する中で、公募選定のハードルは、非常に高い状況にある。なお、他都市の選定に積極的に応募していくためには、戦略を立てる専門部署の設置等が求められるが、人材の確保をはじめ体制整備に向けては、慎重に検討していく必要がある。

・また、指定管理者制度における事業団を取り巻く環境は厳しさを増しているため、これまで以上に事業団の存在価値や実績等をPRし、公募となった場合においても確実に選定されるように事業団の存在価値を高める新たな事業展開などに取り組む必要がある。併せて、公募選定において、他社との競争に敗れるといった最悪の事態も想定した体制のあり方等についても検討する必要がある。

施設	期間	公募状況	結果
記念公園施設	H18～R8	非公募	選定
社会体育施設	H18～R8	非公募	選定
中央南生涯学習プラザ（旧中央地区会館）	H18～R8	非公募	選定
橘公園ほか4公園	H18～H23	公募	選定
	H24～R8	公募	非選定
青少年いこいの家	H16～R5	公募	選定
美方高原自然の家	H18～H20	公募	選定
猪名川町スポーツ施設	H24～R7	公募	選定
猪名川町B & G海洋センター	H28～R7	公募	選定
芦屋市都市公園海浜公園水泳プール	H26～H31	公募	非選定
芦屋市立海浜公園有料公園施設及び朝日ヶ丘公園有料公園施設	H31～R5	公募	非選定
兵庫県立総合体育館	H24～H26	公募	非選定

これまでの取組と主な課題

その他

◇人材の育成・確保及び人件費の抑制

・体育、スポーツを専門分野とする人材を採用し、また、職場内研修の実施等により質の高い人材が在籍している一方で、指導員の採用については、事業団設立当初は保健体育教員免許取得者に限っていたが、年々人材の確保が難しくなってきたことから、大学・短期大学及び専門学校で体育又は幼児教育を専攻している者に条件を拡げるとともに、現在では、更に応募対象者を拡げ、スポーツの指導や実施経験を考慮する中で人材の確保に努めている。

・なお、職員採用については、正規職員の直接採用は行わず、有期雇用の嘱託職員として採用し、組織の新陳代謝と人件費の抑制を図っている。

・人件費について、昇給幅（4号給→3号給）及び賞与支給額（勤勉手当：平均△20%）の抑制、一定年齢（50歳【現行55歳】）以上の昇給停止制度の導入（活用）により削減を行っている。

【課題】

・職員の採用募集については、費用を抑えた募集が多く、また、近年の売り手市場の中で、先ずは、嘱託職員（有期雇用）での採用ということもあり、厳しい応募状況が続いている。

・正規職員への登用は、人件費抑制の観点等から最小減に抑えてきた経緯があり、中堅職員が少なく、各世代別の人数が均等でなく偏った状況となっている。

・人件費の削減措置については、採用条件の悪化や職員のモチベーションの低下につながることをないように留意する必要がある。また、今後予定されている長寿命化改修工事による休館中における所属職員の給与補償等については、施設の管理運営と事業団の経営が直結しているという認識のもと、市に対し、継続雇用の観点を重視して、検討いただくよう強く要望していかなければならない。

これまでの取組と主な課題

その他

◇尼崎市体育協会への助成、市関連事業への協力等

- 尼崎市体育協会が実施する各種事業活動に対する助成
競技力向上・底辺拡大事業 105万円
スポーツ賞・スポーツ敢闘賞表彰 約10万円
総合開会式 5万円
スポーツ指導者講演会 35万円
全国大会やプロスポーツの誘致事業 約27万円
- 市実施事業への協力
選挙開票会場の設営、投票用紙搬入車の誘導等及び開票事務
コロナ禍におけるワクチン接種会場の設営及び接種者来場のための交通誘導
尼崎市民マラソン・あまがさき市民ウォークの実行委員就任及び事業当日従事協力
尼崎市スポーツ推進審議会委員の就任

これまでの取組と主な課題

その他

◇財務状況

・事業団全体の収支状況について、令和元年度以前は、おおむね収支均衡が保たれていたが、令和2年度以降は、コロナ禍による受講生の大幅な減少や長寿命化改修工事に伴う施設休館による指定管理料や事業収入の減収、また、昨今の光熱水費等の急激な物価高騰による経費負担の増により、赤字決算の状態が続いている。

(千円)

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
経常収益	1,179,873	1,185,186	1,091,064	1,164,487	1,075,937	1,038,897
経常費用	1,177,295	1,185,920	1,145,993	1,165,814	1,141,222	1,048,723
経常外収益	0	0	0	0	0	143
経常外費用	0	0	0	0	0	582
法人税等	1,983	1,898	115	1,778	1,579	1,368
正味財産増減額	596	2,632	△55,044	△3,105	△66,864	△11,633

令和6年度以降の主要取組項目

尼崎市及び猪名川町のパートナーとして、引き続き、各施設の指定管理者としての役割を果たすとともに、これまでの取組と課題を再認識し、その課題解決と事業団の新たな魅力づくりに向けて、事業団職員が強い使命感のもと一丸となって取り組んでいくために、次のとおり今後の主要取組事項を掲げる。

子どもの体力・運動能力の向上、世代を問わないスポーツ活動・健康づくりの推進

尼崎市スポーツ推進計画に掲げられる基本方針や数値目標の達成に向け、各年度に掲げられる市の施策に沿った事業展開を基本に、引き続き住民のスポーツ振興と健康増進に向けた各種教室等の実施、地域へのスポーツ指導員の派遣やフレイル予防の促進に取り組む。また、特に子どものスポーツ機会の充実による体力・運動能力の向上に向けて、同市の委託事業である「尼崎市運動指導員派遣実施業務」における子どもの体力向上、国が推進する中学校運動部活動等の地域移行に向けた取組や小学校プール授業の受入れ支援について、地元行政や関係団体と連携しながら積極的に事業展開を行う。

◇各種スクール・教室運営

・全般的に減少傾向にある子どもクラスの受講生確保に向けて、各地域課やこども青少年課、しごと支援課などの子育て世代や働き世代に向けた所管課と協働して、運動やスポーツを通じてサポートできる体制を進めるとともに、子育てサークルや乳幼児健診で教室体験ができるチケットを配付するなど、施設の存在及び開催教室に関する情報を積極的に発信していく。

令和6年度以降の主要取組項目

子どもの体力・運動能力の向上、世代を問わないスポーツ活動・健康づくりの推進

・また、各種教室の内容等について、受講生のニーズに即した見直しを進めるため、小学校へのアンケート調査を行うなど、保護者のニーズ等の把握に努める。

◇WEB申込みの充実

・スクールや無料体験等の申込みについては、365日24時間いつでも対応可能なWEB申込システムを導入するとともに、支払手続きについては、クレジット決済などのキャッシュレス化にも対応する申込者の負担軽減や利便性の向上策について、検討を進める。

◇尼崎市運動指導員派遣実施業務

・令和2年度から実施している小学校の体力テストの実施においては、正確な体力測定の方法や測定ポイントの助言、測定前に実施する効果的なウォーミングアップのサポートを実施したところ、“瞬発系”では、数値的に効果が認められたものの、「走・持久力」の項目については、県平均より低い水準であった。そのため、今後においては、より効果が期待できる運動プログラムの作成及び提案、実施方法の伝達、体育主任に対する研修会の実施など、事業内容の充実に取り組む。

令和6年度以降の主要取組項目

子どもの体力・運動能力の向上、世代を問わないスポーツ活動・健康づくりの推進

◇中学校運動部活動地域移行

・現在、尼崎市の中学校部活動のあり方については、市が設置する「尼崎市地域クラブ検討協議会」と共に鋭意検討中であり、モデル事業の評価、検証等を行う中で、今後の方向性等を整理している状況にある。そのため、「地域部活動検討協議会コーディネート配置支援等事業受託」において、指導者人材バンクの開設、財源の確保に向けた部活動応援企業登録制度の確立、指導者向け研修計画の策定（コンプライアンス研修、救急対応、指導力向上）、中学校体育連盟の大会など出場試合の精査、指導者の勤怠管理、事故等発生時の対応など、事業団から積極的に課題の洗い出しや各種提案等を行い、当該事業の早期具体化に向けて取り組む。

◇小学校プール授業の受入れ支援

・小学校プールの維持管理に係る負担軽減を目的に、全国的に小学校プール授業の民間スイミングクラブ等への委託化が進められている状況を踏まえ、サンシビック尼崎の屋内プールにおける小学校プール授業の受託を見据え、運営体制の整備を行うとともに、教育委員会に対して、先導的に必要な提案を行っていく。

・猪名川町においては、小学校プール授業の外部委託が進められることとなり、令和6年度からB&G海洋センターで試行的にモデル校2校の受入れを行う。今後においては、モデル校における取組状況等を検証しながら、次期の指定管理期間内での全校の受入れ受託を目標に積極的に取り組んでいく。

令和6年度以降の主要取組項目

競技スポーツの振興

◇新たな競技種目の振興

・全市を挙げて応援できるような、尼崎市体育協会に加盟種目となっていないオリンピック種目やマイナーな競技種目（例えば、スポーツクライミング、ブレイキン、スケートボード、ドッジボールなど）を対象に、尼崎市の新たな魅力づくりにつながる取組について研究していく。

・また、元オリンピック選手や現役選手を招聘し、体験会やイベントを開催するなど、通年のスクール化や主催大会の開催など、試行的な取組について検討していく。

施設整備の強化

◇予防保全と余剰金の充当

・高額な経費を要することが想定される修繕・改修箇所については、早期に所管課における予算確保に向けて情報共有を行うとともに、引き続き計画的な修繕・改修を図っていく。また、日常点検や定期点検をより丁寧に行うことにより、不良箇所や危険箇所の早期発見と予防保全に努め、不要な高額修繕が発生しないように取り組んでいく。

・なお、公益法人制度における収支相償による余剰金が生じた場合においては、従前と同様に施設や設備等の修繕・更新費に充当し、施設利用環境の維持・向上に取り組む。

令和6年度以降の主要取組項目

PRの強化

◇SNSの有効活用、担当部署の設置

- ・「伝えたい相手に、伝えたい情報を確実に提供する。」との情報発信の原則を職員間で共有するとともに、ターゲットに合わせた多様な情報媒体による効果的なPRを行う。
- ・高齢者に対しては、SNS等に馴染みが薄い人たちも多く、地域の回覧板や折り込みチラシなどが有効であるため、従前どおり紙媒体を中心に情報発信するとともに、働き世代や主婦層に対しては、写真や動画などをSNS（Instagram、LINEなど）を通じて、定期的に発信し、リアルタイムでスクール等の雰囲気伝えるとともに、SNSを活用したキャンペーン等も実施していく。
- ・ホームページについては、動画を効果的に活用するなど、より分かりやすく閲覧者に情報が伝わるように整備する。
- ・ホームページやSNSの情報の更新や投稿の頻度など、各部署に差異が生じている状況であるため、事業団全体の広報について、専属して行う部署の設置又は専任の担当者の配置等を行い、実施体制の強化を図る。

令和6年度以降の主要取組項目

指定管理者制度

◇指定管理施設への応募等

- ・ 尼崎市内の指定管理施設については、引き続き、市の外郭団体として、市の施策に沿った事業展開と尼崎市スポーツ推進計画に掲げられる目標数値の実現を目指し、施設の設置目的に沿った適正管理と管理水準の向上、施設の持つ効用をより高める新たな取組を行っていくなど、事業団の持つノウハウや人材を活かした強みを発揮していく。
- ・ 非公募選定により新規受託する「武庫健康ふれあい体育館」の管理運営においては、従前の地区体育館及び老人福祉センターの機能を統合した新たな施設効用の発揮が求められることから市関係課と十分に事前調整等を行い、効果的な事業展開を推進していく。
- ・ 他都市のスポーツ関連施設の公募対応については、現行の管理運営施設を継続的かつ安定的に運営していくことを大前提としたうえで、取り巻く状況変化等を見定める中で、慎重に検討していくものとする。
- ・ 先ずは、令和8年度からの猪名川町スポーツ施設及び猪名川町B & G海洋センターの2施設及び令和9年度からの記念公園施設、社会体育施設及び中央南生涯学習プラザの選定獲得を着実に推進する。
- ・ 指定管理の提案書をはじめ、プレゼンテーション資料の作成やプレゼンテーション説明などの選定業務については、人材育成に寄与する貴重な経験となることから、今後は、次世代職員を中心に取り組んでいく。

令和6年度以降の主要取組項目

その他

◇職員の確保

- ・嘱託職員採用に係る受験者の確保にあっては、「自身がやりたいことができる企業」、「プライベートの時間を重要視し、ワークライフバランスが確保されている企業」、「ブランド力が強く、ネームバリューが強い企業」などを条件に就活を行う傾向が強くなっていることから、事業団が自己実現できる事業内容や環境にあることについて、正しく情報発信できるよう事業団のプロモーション動画を作成し、求職情報と併せて広報し、受験者の確保に努める。

- ・また、採用試験を年間を通じ随時行うものとし、学生への早めのアプローチを行うとともに、大学等の就職説明会への積極的な参加やイベント運営等をテーマにしたインターシップの活用などを通じて、学生との関係性を構築するとともに、事業団に対する興味や関心を高めることで、受験者の確保に取り組む。

- ・なお、採用試験の募集方法や実施方法の見直しなど、取り組むべき内容はまだまだあるため、それらを徹底的に行ったうえで、それでもなお、職員の確保に苦慮するような場合は、嘱託職員の正規化や給与面など処遇改善等について、検討を進めていく。

※嘱託職員制度を廃止し、現行の嘱託職員を正規職員化するにあっては、毎年度の定期昇給や昇格、退職給付に係る積立金の計上など、現行より単年度で2,000万円以上の増額が見込まれるため、今後における指定管理施設の公募選定等における障壁になる可能性があるため、慎重に検討する必要がある。

令和6年度以降の主要取組項目

その他

- また、若手職員の定着率を高める取組として、職員間のコミュニケーションの活性化を図り、良好な人間関係の構築や風通しの良い職場づくり、柔軟な働き方ができる環境整備など、職員が働きやすく、働き甲斐が実感できる職場環境に向けて、役職者が規範となり取り組んでいく。

- 年度途中に発生する欠員対応や指導者派遣事業における多種多様な派遣依頼にこたえるため、配属先の業務のみならず、他部署等での指導も行えるよう事務従事や業務交流（例えば、地区体育館の職員が、定期的に屋内プールのスイミングスクールのサブに入るなど）を行い、職員の可能性を高めるとともに必要なスキルアップを図っていく。

◇ IT化の推進による業務の効率化

- 現在、紙媒体で行っている職員の勤怠管理について、新たに勤怠管理システムを導入し、勤怠情報入力から給与計算、給与明細の発行までの一連の事務処理をデジタル化することで、職員の業務負担の軽減を図る。

- また、今後は、職員一人ひとりに専用のパソコンを貸与し、新たな事務支援システムを導入することで、必要なネットワーク環境を整備し、各パソコンデータの一括管理による情報セキュリティの強化を図るとともに、事務の効率化を推進する。

おわりに

- ▶ 中期経営計画検討委員会では、本方針のなかでも触れている尼崎市スポーツ推進計画、市の施政方針や猪名川町総合計画など行政の求めるまちづくりの推進に向け、積極的に取り組んでいくことが、スポーツ振興事業団としての使命であることを再認識した。
- ▶ 基本理念とビジョンに対する4つの基本戦略を再度、全職員が共有するとともに、これまでの取組を継続しつつ、それらに係る今日的な課題を一つずつ解決しながら、新たな業務にも積極的に取り組み、事業団の存在価値をより高めていかなければ、今後の指定管理者の選定にも影響があるとの危機感を再確認した。
- ▶ そのことを職員一人ひとりが十分に理解した上で、それぞれの立場と責任において、事業団の更なる発展に貢献するという強い意識を持って、日々の業務に取り組み、着実に成果を残していくことが重要である。
- ▶ 今後においても、「尼崎市や猪名川町のスポーツは、スポーツ振興事業団なしでは成り立たない。～地域にとってなくてはならない存在～」と思われる存在になるべく、全職員が一丸となって、目標達成、課題解決に全力で取り組んでいく。
- ▶ なお、今後においても、全体として取り組むべき検討課題はあることから、必要に応じ検討部会を設置し、検討を行っていく。
- ▶ 今回、中期経営計画の策定を目指して取り組んだが、コロナ禍後の状況変化や尼崎市における外郭団体のあり方を模索する中で、具体的数値を盛り込むまでには至らなかったものの、事業団が取り組むべき今後の方向性や中期的な目標と課題を明確にすることはできたと考える。今後は、これらの課題を再認識しつつ、外郭団体として、これまで行政の要請に誠実かつ柔軟に対応してきた施設管理や指導実績など、我々の役割と果たしてきた成果をより明確に対外的にアピールするとともに、5年後には、本来の中期経営計画に成案化できるように、より具体的に取組を行っていく。

尼崎市スポーツ推進計画（参考）

1 基本理念

前計画では、『スポーツのまち尼崎』を目指して、市民の誰もがスポーツに親しめる機会と場を提供し、生涯スポーツを推進するとともに、スポーツ大会の開催など競技力の向上に取り組んできました。本計画でも、以下の基本理念のもと、各種スポーツ施策を実施することにより、市民の誰もがスポーツに関心を持ち、気軽にスポーツに親しめるまちとなるよう取り組んでいきます。

『スポーツのまち尼崎』の実現

2 基本方針及び数値目標

『スポーツのまち尼崎』の実現のため、次の基本方針と数値目標を定めます。

基本方針 1	子どものスポーツ機会の充実による体力・運動能力の向上
数値目標	子どもの体力・運動能力が、兵庫県の平均値以上となることを目指します。 【H30：17.5% ⇒ R11:100.0%】
基本方針 2	ライフステージや体力等に応じたスポーツ活動、健康づくりの推進
数値目標	健康を意識した運動やスポーツを行っている市民の割合の向上を目指します。 【H30：54.8% ⇒ R11:65.0%】
基本方針 3	スポーツ環境の基盤づくりによる市民スポーツ活動の推進
数値目標	地域スポーツ施設の年間利用者数が 1,200,000 人となることを目指します。 【H30：1,109,192 人 ⇒ R11:1,200,000 人】
基本方針 4	各種スポーツ大会・イベントを契機としたスポーツの推進
数値目標	主なスポーツ大会・イベントの年間参加者数が 70,000 人となることを目指します。 【H30：53,477 人 ⇒ R11:70,000 人】

中期経営方針検討委員会

検討経過

	開催日	検討概要
第1回	令和5年8月21日	中期経営計画検討委員会設置主旨、事業団の現状確認 委員会の進め方、今後のスケジュール
第2回	令和5年9月11日	各課の取組状況と課題確認 課題に対する項目整理
第3回	令和5年12月18日	基本理念、ビジョンの再確認、基本戦略の明確化 課題に対する解決策の検討
第4回	令和6年1月15日	所属職員からの意見も踏まえた課題に対する解決策の検討 今後の進行について検討
第5回	令和6年2月19日	中期経営計画のまとめ方について検討

中期経営方針検討委員

	役職	氏名	所属等
1	委員(議長)	猪塚 敬彦	公園施設課長
2	委員	濱本 康弘	総務課長
3	委員	馬場 美和	小田体育館担当係長
4	委員	坂根 徹	猪名川町B & G海洋センター所長
5	委員	津田小百合	指導者派遣担当係長
6	委員	谷本 真敏	ヘルスエリア担当係長
7	委員	込山 唯佳	屋内プール主任
	事務局	田口 貴裕	総務課課長補佐
		松谷多恵子	企画総務係主任